

「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現

愛知県（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

国土の中央に位置し、三大都市圏の一つ。一方、県土の4割を森林が占め、伊勢湾・三河湾に囲まれるなど豊かな自然環境を有する。また、陸・海・空の優れた交通条件を有する。製造品出荷額等は1977年以降全国1位。特別史跡名古屋城跡、国宝犬山城など豊富な武将観光資源がある。2021年度の県政世論調査において、SDGsという言葉が「聞いたことがあり、内容も知っている」と答えた人の割合は42.2%。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

ジブリパークなどの数多くのビッグプロジェクトを最大限活かして、将来にわたって日本の成長をリードし続ける愛知県を形づくっていく。また、SDGsの達成に向けて、持続可能な社会を実現していく。この考えのもと、愛知が丸となって「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現を目指す。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

【経済面】イノベーションを創出する愛知

あらゆる産業で新技術の活用を進め、「産業首都あいち」として、国際的なイノベーションの創出拠点を形成し、イノベーションを生み出す人材を育成・確保する。

【社会面】すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知

すべての人が、豊かな時間を楽しみながら、望む形で役割を担うことができる社会を作っていく。そして、「人生100年時代」において、生涯にわたって輝き、活躍できる社会を実現する。

【環境面】環境分野で日本をリードする「環境首都あいち」

安心・安全の確保はもとより、環境面の各分野が連携しながら、統合的な向上が図られている、日本一環境にやさしいあいちを実現する。

5. 取組推進の工夫

「あいちビジョン2030」において、SDGs達成に向けた本県の考え方や方向性を示すとともに、各局等が策定・改定する個別ビジョンや計画等にSDGsの理念を反映している。また、本県が取り組む施策をSDGsの17のゴール（目標）ごとに整理した「SDGs政策パッケージ」を策定している。

6. 取組成果

【「SDGs AICHI EXPO」の開催】

企業・大学・NPO等のコミュニケーションやネットワーク化を促進するとともに、SDGsの普及・浸透を図るため、ステージイベントやワークショップ、ブース出展等からなる「SDGs AICHI EXPO」を開催。

<2023年度>

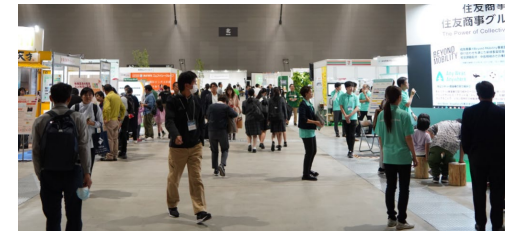
ブース出展者：125団体、参加者：延べ16,967名

【愛知県SDGs登録制度の運用】

SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体等を登録し、その取組を「見える化」するとともに、登録者のSDGsに関する具体的な取組を促進する。

登録者数：1,576者（2024年9月2日現在）

登録者を対象とした交流会の開催：年2回（2023年度）



7. 今後の展開策

- ・企業・団体や、市町村、学生など、SDGsを自分ごととして捉え、自ら取組を進める多様な主体を発掘するとともに、他の人の取組を誘発するなど、新たなSDGsの牽引役やロールモデルを育成し、取組を波及させていく。
- ・企業・団体や、市町村、学生などが主体となったSDGsの取組を促進させるための事業を実施する。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

県内の市町村とのSDGs推進に係る取組状況等の情報共有や連携強化を図り、県内におけるSDGsの達成に向けた取組をより一層進めるための「愛知県SDGs未来都市等担当者会議」を2019年度から開催している。また、中部圏の自治体や民間企業、経済団体等で構成する「中部圏SDGs広域プラットフォーム」と連携して、SDGsの達成に向けて取り組んでいる。